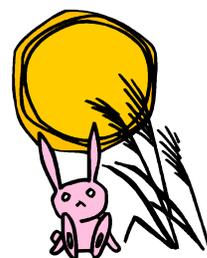


蒜高タイムズ

第43号
毎月25日発行
H19. 10. 25
蒜山高校
教務課



オープンスクール(九月二十日)

蒜山中学校からの46人をはじめ、7つの中学校から合計57人の中学生がオープンスクールに参加しました。蒜山高校の生徒がどのような授業をどんな風に受けているのかを見てもらうため平日に行われました。6つの授業を60分かけて参観し、その後、学校紹介のプレゼンテーションを聞きました。最後に書いてもらったアンケートには「少人数の授業で一人一人が充実した学習ができるんだな」「コースがいつばいあってびっくりした。」など蒜山高校のアピールポイントがよく伝わったのではないかと思います。



コース選択説明会(九月二十一日)

1年生を対象にコース選択の説明会が行われました。教養、流通情報、生活科学の3つのコースがあり、この中から自分の将来の進路にあったコースを選択することになります。共通の授業もありますが、約半分はそれぞれのコースで特徴のある授業が展開されます。保護者の方としっかり話をし、早めに自分の将来の計画を立ててください。

交通安全LHR(九月二十八日)

今回は雨天のため原付の実技講習が中止となり体育館で自転車を運転するときの責任やマナーについて話を聞きました。倉吉の鳥取中央自動車学校の協力でスライドを使ったわかりやすい話を生徒も熱心に聞いていました。九月十九日から道路交通法が厳しくなりました。生徒には関係ないと思っていた飲酒運転についても、部活で遅くなつて迎えに来てもらうときに、家の人がすでにお酒を飲んでいたり合、その車に乗った生徒(原付免許取得者)についても飲酒運転車両の同乗行為として罰則が適応されます。など身近に起こりうる事例を交えながら話をされました。

人権LHR(十月五日)

2学期の人権教育LHRは全校で映画『どんぐりの家』を鑑賞しました。映画の内容は、ある夫婦の間に誕生した子どもが、聴覚障害と知的障害を併せ持つという重いハンデを抱えていたことから直面する様々な家族の苦しみの中で、ろう学校に通う同じ障害を持った子どもたちやその家族、先生たちと支えあいながら生きていく姿を描いたものでした。映画の後半では、学校を卒業した後も豊かな人生を切り開くために、多くの大人の支援を得ながら共同作業所『どんぐりの家』を設立する様子が、実際の映像を交えて紹介されていました。今世間でいわれている「共生」とは本当の意味では何なのか、考えさせられる映画でした。

ボランテニア(福祉運動会 十月七日)

平成の森ドームで行われた「福祉運動会」に「記録・決勝審判」係として参加しました。元気いっぱい競技者の方々の真剣な眼差しや、皆さんの楽しそうな笑顔を見ながらのお手伝いとなりました。参加した生徒の感想です。「参加してよかったと思います。みんな元気があってすごいなと驚かされました。手に汗握る大接戦で、緊張感を感じながらも、楽しく手伝うことができてよかったです。」「みなさんが真剣に競技されていてとても楽しそうでした。だから仕事もやりがいがありました。」

球技大会(十月十一日)

全校生徒による球技大会が開催されました。種目はバレーボールで男子はトーナメント、女子はリーグ戦でクラス対抗によって行われました。普段の授業とは違い生き生きとした姿が印象的で、非常に白熱した試合が展開されました。特に目を引いたのが1年男子のレベルの高さ。バレーボール部員が多いということもあり、容赦なく、3年生のクラスを撃破していき、ついには優勝してしまいました。エキシビジョンマッチでは、男女とも教員チームと3年生選抜チームとが試合をしました。やはり、若さと日頃練習している生徒が大差で勝ちました。(生徒も日頃のうっぴんをはらすことができたことでしょうか!)

男子	優勝	1 B	女子	優勝	2 A
	2位	3 A		2位	3 B
	3位	2 A		3位	3 A



中間考査(十月二十二日~二十五日)

2学期も半分が終わり区切りの中間考査が実施されました。三座祭や球技大会の時には勉強を忘れ思いつきり体を動かしました。今度はここぞとばかりに脳を働かせたことでしょう。最終日には試験後に校舎外の大掃除が行われ学校周辺もすっきりきれいになりました。成績表は十一月上旬には届くと思います。

10月・11月の予定

10月

26日(金) ウォーキング大会
31日(水) 修学旅行
~2日(金)

11月

9日(金) 薬物乱用防止教育講話
22日(木) 生徒会役員選挙



新聞をご覧になられた感想、ご意見などありましたら下記までお願いいたします。
蒜山高校 Tel:66-2016(担当 土居)
e-mail: hiruzen07@pref.okayama.jp